

春の研究例会のご案内

2009年3月14日(土)午後2時～5時

ワーク・ライフ・バランスって何？

どうして今？

徹底検証！

萩原久美子(都留文科大学講師・ジャーナリスト)

会場：早稲田奉仕園(東西線早稲田駅)

フォークトルーム

<http://www.hoshien.or.jp/map/map.htm>

『女性労働研究53号』記載の会場は誤りですのでご注意ください。

参加費：500円(会員 無料)

出たばかりの女性労働研究53号の読者会を兼ねる春の研究例会には、同誌特集にて、「ジェンダー視角からの『ワーク・ライフ・バランス』政策(2003～2007)の検討」の論文を掲載していただいた萩原さんから、現在の両立支援の奇妙な状況を解き明かしていただきます。各企業で働く女たちの肉声に寄り添い、アメリカでのリアルな状況を見聞き分析した「迷走する両立支援 いま、子どもを持って働くということ」(太郎二郎社エディタス2006)で、本当に女性は働きやすくなっているのか、についての複雑な状況をジャーナリストの眼で明快に解き明かし、また、研究者としてまとめられた「育児『休職』協約の成立 高度成長と家族的責任」(勁草書房2008)の著作では、40年も前、労働組合が育児休職の協約を結んだ歴史を、現在のジェンダー分析の視角から再現し、意義を分析して見せた萩原さん。その問題提起を受けて、この狭間にあった私たちは、果たしてこの間をどのように生き、運動を作ってきたか、そしてなぜ、現在、掛け声の大きさと裏腹に、現実には働きにくく過酷なものになっているのか、現在進むワーク・ライフ・バランス論議にいかに対応すべきか、考えたいと思います。

*事前申し込みは不要です。詳細は女性労働問題研究会ホームページのイベント情報をご覧ください。

(榊原裕美)